

令和 2 年 7 月 1 日現在

機関番号：34506

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K03115

研究課題名(和文)江戸定府大名堀田氏の所領統治 - 地域社会と行政機構の相関モデルの構築 -

研究課題名(英文)The Study on how a zyofu-daimyo Ruled its territory

研究代表者

東谷 智 (HIGASHITANI, Satoshi)

甲南大学・文学部・教授

研究者番号：10434911

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、定府大名堀田氏に関わる史料の分析を中心に進め、所領支配の実相を検討したその結果、定府大名であることの特質を考慮しつつ以下の点を明らかにした。(1)所領支配の機構整備と実態、(2)居所堅田と京・大津との関係性、(3)政策の展開と地域経済・自然環境の影響、(4)居所の移転と所領支配の変容、(5)居所佐野における「城下町」の創出、(6)江戸大名世界における堀田氏と藩政の展開。

上記成果に加え、他地域における定府大名の事例を比較検討し、所領配置や支配システムなどについて、定府大名の特質のモデル化を検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、従来十分に検討されてこなかった定府大名の所領支配について明らかにしたものである。

本研究によって、旗本や大名の所領配置や畿内・近国論など、従来の研究蓄積と切り結ぶ論点を見いだすことが可能となった。また、堀田氏の所領があった近江・下野・上野のみならず、他地域における所領配置や所領支配のあり方を分析するにあたり、応用可能な分析視角を検討することが出来た。

研究成果の概要(英文)：We analyzed the historical materials of the Hotta clan, who were a zyofu-daimyo. We revealed how to rule the territory as a zyofu-daimyo. The following points were clarified. (1)The process of creating a governing mechanism. (2)Relationship between Katata and Kyoto/Otsu. (3)Policies for dealing with the natural environment. (4)The process of moving the "Kyosho" from Katata to Sano, and the governance system changes. (5)The process of create "a castle town" at Sano.(6)The relationship of daimyo in Edo influenced the Hotta's domain.

We compared other zyofu-daimyo, and modeled the quality of a zyofu-daimyo.

研究分野：日本近世史

キーワード：藩政史 定府大名 畿内・近国論 江戸における大名世界 領主支配 飛地領 気候変動

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

(1)定府大名は江戸に定府するため所領に赴くことはないため、参勤交代を行う大名とは異なる所領統治が行われる。この差異を踏まえた研究は蓄積が少なく、本研究では定府大名堀田氏を素材として、その所領統治を明らかにすることが課題である。

(2)2013～2015年度に科研費の交付を受けた研究(「譜代小藩堅田藩の基礎的研究 - 地域社会の変容と藩政の展開 -」(基盤研究(C)、研究課題:25370808))において、堀田氏関係の古文書や記録類の大半を収集し、その分析に着手したところであった。先述の課題に取り組む条件が整っているなか、研究を開始した。

### 2. 研究の目的

(1)定府大名は江戸に常駐するため、藩主が江戸の大名社会に接する機会は他の大名よりも多い。一方、所領に赴かないことから、領民と接する機会は少ない。大名相互、または幕府と大名間の儀礼関係は見られるが、領主 - 領民間の儀礼関係は希薄となる。

こうした定府大名の特質を踏まえた上で、「江戸の大名世界 - 統治機構 - 所領」という所領支配の構造を明らかにし、江戸時代における大名の統治のあり方について、その一形態を示す事が本研究の目的である。

(2)他地域との比較を行いつつ、上記の研究成果を所領配置の観点から検討していきたい。

### 3. 研究の方法

(1)本研究が分析の対象とするのは、(A)堀田氏の所領、(B)堀田氏領を超えた広域的な経済や自然環境、(C)江戸における大名世界(親族大名や役職大名を含む)である。所領を統治する機構について基礎的な分析を重ねることにより、所領支配の実態を明らかにし、その上で、所領を越えた問題への対応や施策を明らかにする。加えて、江戸の大名世界が所領支配に与えた影響を分析する。

(2)上記の研究を進めるため、研究代表者、分担者、協力者が、共通した議論の土台をつくる事が出来るように、史料を輪読する研究会を定期的実施する。輪読する史料は、すでに収集した堀田氏関係の史料のうち、居所があった本堅田村の大庄屋日記(元禄から幕末まで伝存)である。

(3)申請計画に基づき、(a)近江における所領支配、(b)関東における所領支配、(c)江戸における大名世界について検討を進める。研究代表者、分担者、協力者は、(a)(b)(c)いずれかの分野を分析対象として、収集史料の分析を行う。

(4)上記の研究成果を共有する機会として、年2回の研究会を行う。また、研究成果を市民向けに還元する成果発表会を年度末に行う。

### 4. 研究成果

#### (1)所領支配の機構整備と実態

本堅田村の大庄屋日記の読解を進め、堀田氏領の所領支配について主要な政策の展開を明らかにし、支配を担う機構の構造を解明した。合わせて、本堅田村の中に都市的要素が含まれる堅田の行政組織が明らかになった。

また、堅田から佐野への居所移転にともない上知となった高嶋郡の動向を検討し、引き続き領地であった滋賀郡との比較検討を行った(3)(4)の成果と関連する)。

#### (2)居所堅田と京・大津との関係性

堅田陣屋の役人が京・大津と取り結んだ関係について解明した。陣屋役人と京都町奉行所与力との関係や、陣屋役人と大津代官所との関係、堅田藩大津屋敷を起点とした大津商人や京都商人の関係などについて明らかにした(3)(5)の成果と関連する)。

#### (3)政策の展開と地域経済・自然環境の影響

堅田藩領の琵琶湖沿岸における気候変動を検討し、藩の施策に与えた影響を明らかにした。この影響は、堅田藩領のみならず、琵琶湖沿岸地域に所領を持つ領主にも同様の影響を与え、共通する施策が実施されている点にも言及している。また水害への対応として、村役人による田地の水位測定の結果が検見帳に反映される過程も明らかにした。

堅田商人北村家の分析から、商人の経済力と藩政の関わりについて検討し、地域社会の担い手や地方支配の変化を明らかにした。特に佐野へ居所を移転したのち、北村又三郎の役割・位置付けが重要であることを明らかにした(4)(5)の成果と関連する)。

#### (4)居所の移転と所領支配の変容

文政9年(1826)に堀田氏は居所を堅田から移した。移転の実態に加え(1)の成果、江戸の大名世界における堀田氏の位置付けなど、移転の背景が明らかとなった。移転後の所領支配について、野州領3か村の百姓が「城付地」の領民という意識を持ちつつ佐野藩との関係を作っていたことなど、新たな事実が明らかになった(3)(5)の成果と関連する。

#### (5)居所佐野における「城下町」の創出

交通の要衝であり、地域社会の中心地である佐野に「城下町」が創出される過程が解明された。この過程は、堀田氏が定府大名から一般の大名へと変化していく事を意味しており、支配の変容と関連付けて意義づけることが出来る。

#### (6)江戸大名世界における堀田氏と藩政の展開

堀田氏の江戸屋敷における基礎的な検討を進め、幕府政治との関連を検討した。そのなかで、親族大名全体における共通利害という視角から、堅田藩主堀田正敦が堀田氏一族の家長として位置づけられていく過程を明らかにし、居所の移転との関連を分析した(4)の成果と関連する。

#### (7)定府大名領における所領支配の特質

(1)~(6)の成果を踏まえ、他地域の定府大名領との比較を行った。定府大名の統治形態の特徴が陣屋の規模などに関連していることや、畿内・近国地域や関東地域の所領配置と、定府大名領の所領配置の比較研究の有効性などの議論が進化した。定府大名の所領支配についてのモデルとして、堀田氏領を位置づける視角を確認した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>平野哲也                         | 4. 巻<br>なし          |
| 2. 論文標題<br>江戸時代下野国の川漁                  | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>下野近世史研究会編『近世下野の生業・文化と領主支配』   | 6. 最初と最後の頁<br>39-67 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>平野哲也                         | 4. 巻<br>53          |
| 2. 論文標題<br>江戸時代北関東における食と農              | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>日本農業史学会『農業史研究』               | 6. 最初と最後の頁<br>15-26 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>東谷 智                        | 4. 巻<br>168         |
| 2. 論文標題<br>堅田藩における大庄屋の成立とその職掌         | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>甲南大学紀要 文学編                  | 6. 最初と最後の頁<br>21-26 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>東谷 智・鎌谷かおる・栗生春実・郡山志保・高橋大樹・水本邦彦・山本晃子 | 4. 巻<br>168         |
| 2. 論文標題<br>『本堅田村諸色留帳』（四）- 宝永三年 -              | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>甲南大学紀要 文学編                          | 6. 最初と最後の頁<br>27-38 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）         | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>平野哲也                         | 4. 巻<br>710         |
| 2. 論文標題<br>干鰯と農業                       | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>歴史と地理 日本史の研究                 | 6. 最初と最後の頁<br>30-41 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平野哲也                         | 4. 巻<br>23            |
| 2. 論文標題<br>下野国思川水系・流域の生業世界             | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>別冊環 江戸・明治 連続する歴史             | 6. 最初と最後の頁<br>168-182 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>平野哲也                                | 4. 巻<br>22          |
| 2. 論文標題<br>五十里洪水の記憶 - 下野国における享保八年八月洪水と社会の対応 - | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>栃木県立文書館研究紀要                         | 6. 最初と最後の頁<br>57-77 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難        | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>東谷智・鎌谷かおる・栗生春実・郡山志保・高橋大樹・水本邦彦・山本晃子 | 4. 巻<br>170         |
| 2. 論文標題<br>史料翻刻『本堅田村諸色留帳』(五) - 宝永四年 -        | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『甲南大学紀要』文学編                        | 6. 最初と最後の頁<br>27-40 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計16件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 0件）

|                                    |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる                   |
| 2. 発表標題<br>びわ湖とともにいかに生きるか          |
| 3. 学会等名<br>立命館大学総合科学技術研究機構合同シンポジウム |
| 4. 発表年<br>2018年                    |

|                               |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名<br>平野哲也               |
| 2. 発表標題<br>下野国東部の百姓の内陸水運網拡充構想 |
| 3. 学会等名<br>第57回近世史サマーセミナー     |
| 4. 発表年<br>2018年               |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる                      |
| 2. 発表標題<br>琵琶湖の水位を考えるー本堅田村の古文書を手がかりにー |
| 3. 学会等名<br>第五回報告会 江戸時代の堅田と堅田藩         |
| 4. 発表年<br>2018年                       |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる                      |
| 2. 発表標題<br>歴史と文化                      |
| 3. 学会等名<br>水野一晴・藤岡悠一郎編 『朽木谷の自然と社会の変容』 |
| 4. 発表年<br>2018年                       |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>東谷 智                |
| 2. 発表標題<br>堅田藩堀田氏の江戸屋敷と親族大名の交流 |
| 3. 学会等名<br>第五回報告会 江戸時代の堅田と堅田藩  |
| 4. 発表年<br>2018年                |

|                               |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名<br>平野哲也               |
| 2. 発表標題<br>佐野藩の陣屋機能と下野領統治     |
| 3. 学会等名<br>第五回報告会 江戸時代の堅田と堅田藩 |
| 4. 発表年<br>2018年               |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>平野哲也                               |
| 2. 発表標題<br>江戸時代北関東における食と農 - 主穀の生産・流通・消費を中心に - |
| 3. 学会等名<br>日本農業史学会2018年研究報告会シンポジウム            |
| 4. 発表年<br>2018年                               |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる                              |
| 2. 発表標題<br>江戸時代の堅田の土地を調べてみよう                  |
| 3. 学会等名<br>第五回北部地域文化 センター講座 ほくぶん地域塾第四講座（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2017年                               |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる                           |
| 2. 発表標題<br>江戸時代の気候と人々の暮らし - 東大阪市域を中心に -    |
| 3. 学会等名<br>東大阪市歴史講座 古文書が語る東大阪の歴史と魅力 (招待講演) |
| 4. 発表年<br>2017年                            |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる                |
| 2. 発表標題<br>近世日本における年貢制度の展開と気候変動 |
| 3. 学会等名<br>社会経済史学 会全国大会         |
| 4. 発表年<br>2017年                 |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる・佐野雅規                                  |
| 2. 発表標題<br>近世日本の気候変動と村落における記録の記され方 - 気候変動への興味と知識を考える - |
| 3. 学会等名<br>日本村落研究学会第65回大会                              |
| 4. 発表年<br>2017年  |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>東谷 智                     |
| 2. 発表標題<br>江戸時代の領主たち - 東大阪市域を中心に -  |
| 3. 学会等名<br>東大阪市歴史講座 古文書が語る東大阪の歴史と魅力 |
| 4. 発表年<br>2017年                     |



|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>東谷 智                 |
| 2. 発表標題<br>堅田藩の藩政文書と堅田陣屋・江戸屋敷   |
| 3. 学会等名<br>第四回成果報告会 江戸時代の堅田と堅田藩 |
| 4. 発表年<br>2018年                 |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>栗生春実                         |
| 2. 発表標題<br>庄屋の仕事 - 「本堅田諸色留帳」からみる堅田の一年 - |
| 3. 学会等名<br>第四回成果報告会 江戸時代の堅田と堅田藩         |
| 4. 発表年<br>2018年                         |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山本晃子                 |
| 2. 発表標題<br>近江国高島郡内の堅田領に残る記録について |
| 3. 学会等名<br>第四回成果報告会 江戸時代の堅田と堅田藩 |
| 4. 発表年<br>2018年                 |

|                              |
|------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鎌谷かおる・佐野雅規・中塚武    |
| 2. 発表標題<br>近世日本における気候変動と領主支配 |
| 3. 学会等名<br>日本地球惑星科学連合2019大会  |
| 4. 発表年<br>2019年              |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

|           | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                        | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                  | 備考 |
|-----------|--|--|----|
| 研究<br>分担者 | 鎌谷 かおる<br><br>(KAMATANI KAORU)<br><br>(20532899) | 立命館大学・食マネジメント学部・准教授<br><br><br>(34315) |    |
| 研究<br>分担者 | 平野 哲也<br><br>(HIRANO TETSUYA)<br><br>(50735347)  | 常磐大学・人間科学部・教授<br><br><br>(32103)       |    |